

半世紀目の日の出

～伝統を礎に、次なる50年を照らす～

全国稲作経営者会議 設立50周年式典

開催日

2026年12月8日(火)

会場

フェアモント東京(東京都港区)


企画・制作

ペトリコール株式会社



日時	2026年12月8日(火)
受付開始	12:00
記念式典	13:00～16:00
祝賀会	17:30～19:30
会場	フェアモント東京 グランドボールルーム
規模	全国から集う1,000名の会員農家、賛助会員等ステークホルダー



- 
- The background of the slide is a photograph of a vast rice field at sunset. The sun is low on the horizon, casting a warm, golden glow over the scene. The rice stalks in the foreground are dark and silhouetted against the bright sky. In the distance, there are rolling hills and a line of trees under a sky filled with soft, orange-tinted clouds.
- ・50周年の節目を祝し、先人への敬意を表する。
 - ・全国1,000名の農家・ステークホルダーとのエンゲージメント(絆)強化。
 - ・「51年目」に向けた、未来への圧倒的な期待感の創出。

- ・祝賀
- ・五穀豊穰
- ・全日本の農家の祈り
- ・50周年記念
- ・再結集
- ・喜びと楽しみのシェア
- ・伝統と革新
- ・創造

世界最高水準の稲作経営を行う次の 50年
これまでと、これからをクリエイティブに象徴



「半世紀目の日の出」—— 伝統を礎に、次なる50年を照らす。

50年という歳月は、1,000の農家と自治体が積み重ねてきた、一粒一粒の稲穂のような歴史です。真面目に、時に大胆に土と向き合ってきた先人たちの想いを『伝統』として守り、2026年、フェアモント東京から見下ろす・首都 東京の街に、次の50年を照らす『新たな日の出』を昇させます。

ビジュアル 中心に「50」を配置し、それを囲む「稲穂」で太陽(円)を形成

カラー 情熱の「朱赤」× 豊穡の「シャンパンゴールド」

デザイン哲学 和の力強さとモダンなラインを融合。50年の歴史とこれからの洗練を同時に表現



会場:フェアモント東京 (Fairmont Tokyo)

2025年に開業した日本初進出の最高級ラグジュアリーホテル。浜松町・芝浦エリアのランドマーク「芝浦プロジェクト」の上層階に位置します。

住所: 東京都港区芝浦1丁目1番1号(浜松町ビルディング／芝浦プロジェクト内)

フロア: 4階 バンケットルーム(大宴会場)

アクセス:

JR線・東京モノレール「浜松町」駅徒歩約6分
都営地下鉄 大江戸線・浅草線「大門」駅徒歩約8分

ゆりかもめ「日の出」駅徒歩約5分

特徴: 東京湾、東京タワー、富士山を一望できる圧倒的なロケーション。

バックパネル：受付背面に、50周年ロゴをあしらったを設置。

歴史のコラージュパネル：ホワイエの壁面には、50年間の写真を「稲穂のフォルム」に沿って配置。近くで見ると個々の農家の顔が見え、遠くから見ると一筋の大きな輝きに見えるアートピースのようなパネルを展示します。



※年表、
素材ご提供想定



花材:「赤(日の出)」を基調とした例えばダリアやグロリオサをメインに、アクセントとして「金(実り)」を想起させるドライの稲穂や、黄金に染めた柳を大胆に配置。

構成: 1,000名の熱気に負けないよう、縦のラインを強調したダイナミックな生け込みを行います。テーブル各所、受付などを装飾。



ドレスコード Something Red

「当日は、**Something Red**を身につけてお越しく
ださい。それが51年目の光となります。」

参加者自身がイベントの一部となり、会場全体が「日の出
の赤」で染まる演出。1,000名が共に創り上げる祝祭の空
間。

※のちの映像に反映される



ステージ演出：
日の出の光を体現

モニター：中央に、透過性のある大型ロモニター。開始と同時に背後からじわじわと赤から金へ変わるライティングを施し、「夜明けから日の出」への移ろいを演出します。



第一部:伝統の継承 ~土に刻まれた50年の記憶~

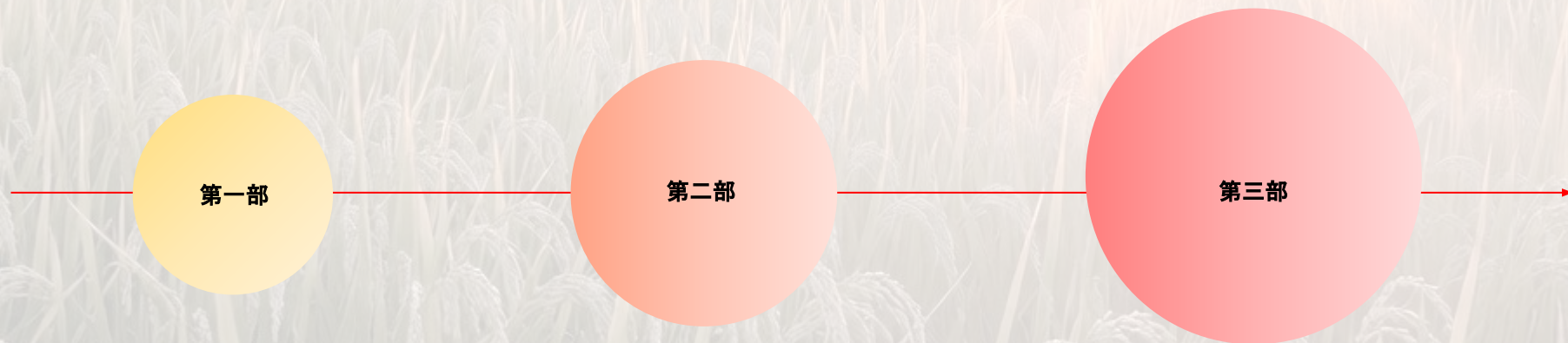
すべては、一粒の種を地に落とすことから始まりました。第一部は、私たちが歩んできた「半世紀の重み」を再確認する時間です。平安より続く芝大神宮の神聖な祝詞が、フェアモント東京のモダンな空間に響き渡る時、現代の喧騒は消え去り、そこには先人たちが守り抜いてきた「誠実な稲作の精神」が立ち現れます。50年という歳月を、単なる数字ではなく、1,000の農家が積み重ねた**「誇り高き伝統」**として神前に捧げ、次なる時代への許しを得る儀式。それがこの物語の起点です。

第二部:共創の胎動 ~知の融合と新たな視点~

伝統を尊ぶことは、立ち止まることではありません。第二部は、積み上げた経験を未来の知恵へと昇華させる「再生」の時間です。鉄鋼という異業種の視点、そして多角的な議論が交わされるトークセッション。ここでは、これまでの常識を一度解き放ち、次世代の稲作経営に向けた新しいエネルギーを充填します。伝統という強固な土壌の上に、革新という新しい種を蒔く。会場に満ちる知的な熱気は、まさに夜明けを前にした**「静かなる胎動」**となります。

第三部:未来の日の出 ~51年目の光を放つ~

そして物語は、もっとも華やかな結末、すなわち「夜明け」へと向かいます。第三部・祝賀会では、1,000名の農家の歩みが光の粒となり、黄金に揺れる稲穂を経て、巨大な**「日の出」へと昇華します。フェアモント東京の窓外に広がる東京の夜景、そして富士山のシルエット。参加者全員が身に纏う「Something Red」が、一つの大きな光の帯となり、会場全体が新しい時代の幕開けを告げる太陽となります。供されるお料理は、伝統の米を未来の技法で再構築した「銀河」**。私たちはこの日、50年の感謝を胸に、まだ誰も見たことのない「51年目の光」の中へと踏み出していくのです。



伝統から未来に向かうタイムライン

第一部:記念式典 ～伝統の継承～

「千年の歴史を持つ芝大神宮の祝詞が、フェアモントの空間を静謐な祈りで満たします。五穀豊穡への感謝を神々に捧げ、歴代の先駆者たちの歩みを称える。背筋が伸びるような、神聖で誇り高い時間です。」

- 13:00 **主催者挨拶** (井田会長)
- 13:05 **神事** 神宮による祝詞。五穀豊穡と未来への祈願。
- 13:35 **来賓祝辞** (最大3名)
- 13:55 **功労者表彰** (歴代会長 最大7名)
- 14:10 **受賞者謝辞** (代表1名に集約し、スムーズな進行を)

神事: 神聖なる幕開け | 芝大神宮による新嘗祭

芝大神宮 (Shiba Daijingu)

「関東のお伊勢さま」と称えられ、**1000年以上**の歴史を誇る名社。

最新のラグジュアリー空間に、最古級の祈りを置く。**太陽と農業の神**の前で50年の感謝を捧げる、これ以上ない必然のキャスティングです。

住所: 東京都港区芝大門1-12-7

御祭神:

天照大御神(伊勢神宮 内宮の御祭神)

豊受大御神(伊勢神宮 外宮の御祭神／農業・食物の神)

本会との関連: 今回の式典では、芝大神宮の神職をお招きし、会場内特設祭壇にて執り行います。



特設祭壇: ステージ上に、フェアモント東京のモダンな内装に調和する白木を用いた現代的な祭壇を造作。神饌(お供え): 全国各地から集った「一級の稲穂」を献納し、50年の実りを神前で報告(相談中)

第二部: 未来への対話 (14:40-16:00)

「過去を敬うだけでなく、未来を創る対話を。一方的な講演に留まらず、多角的な視点がぶつかり合うトークセッションは、明日からの経営に新しい風を吹き込み、皆様の心に新たな火を灯します。」

14:40 **記念講演**(日本製鉄株式会社名誉会長 三村明夫さまより) : 産業の枠を超えた、次世代への特別講演。

15:25 **トークセッション** : 本会の目玉。多角的な視点で「これからの稲作」を掘り下げる30分。

15:55 **閉会挨拶**



記念講演

日本製鉄株式会社名誉会長 三村明夫さまより

■講演内容

- ・長期視野に立った経営判断
- ・産業構造の変化の対応
- ・次世代への継承と人材育成

上記を包括的に講演

■トークセッション

三村様、日経吉田様、によるトークセッション

「これからの稲作」をテーマに5つのお題を設け

それぞれの回答を書き出し、相互の質問を促す

第二部: 未来への対話 (14:40-16:00)

「過去を敬うだけでなく、未来を創る対話を。一方的な講演に留まらず、多角的な視点がぶつかり合うトークセッションは、明日からの経営に新しい風を吹き込み、皆様の心に新たな火を灯します。」

14:40 **記念講演(日本製鉄さまより)** : 産業の枠を超えた、次世代への特別講演。

15:25 **トークセッション** : 本会の目玉。多角的な視点で「これからの稲作」を掘り下げる30分。

15:55 **閉会挨拶**

第三部：祝賀会 ～51年目の夜明け～

「暗闇の中に浮かび上がる、無数の光の粒。それは皆様が歩んできた日々そのものです。その光が集まり、うねり、爆発的な輝きを放ってロゴへと変わる瞬間、私たちは『一人ではない』という確信と共に、51年目の幕を開けます。」

映像「稲穂の光」：1,000名の軌跡がドットとなり、稲穂を経て日の出ロゴへ昇華する。**パーティ**：富士山と東京タワーを背景にした乾杯。

エンタメ：日の出をテーマにした特別なライブパフォーマンス。

オープニング映像「稲穂の光」3部構成



個の輝き

暗転の中、歴史のたどる画像白黒の数々。 1,000名の農家の写真が日本を照らす小さな光の粒(ドット)として出現。



絆の形 成

光が黄金の稲穂の形へ集約。 50年の歳月が個を大きな組織へ変えたことを表現。日本地図を包み込む



未来の日の出

稲穂が爆発的に光り輝き、日本地図が会場が赤に染まった瞬間、 50周年ロゴが力強く浮かび上がり祝賀会がスタート。

コンセプト:

「50年の土の記憶(伝統)を、宇宙(未来)へ解き放つ。」1,000名の農家が守り抜いた「一粒の結晶」を、世界基準のガストロノミーで再構築。伝統的な和の素材と、フェアモント東京の革新的な技法が交差する「食の銀河」を創出します。ロゴ入りのアイテムも。

メニュー構成のこだわり:

【伝統:土の恵み】 全国1,000名の稲作経営者が育てた「最高級の米」を、様々なテクスチャー(リゾット、クリスピー、エスプーマ等)で表現。

【未来:銀河の演出】 漆黒の器に、日の出を象徴する「赤」と、星々の輝きのような「金」を散りばめた、視覚でも味わうフルコース。

【調和:ペアリング】 歴史ある蔵元の日本酒と等に合わせたドリンクセレクション

